

記者と裁判官との意見交換会を開催しました

～裁判員制度10周年企画～



2月27日、山形地方裁判所において、県内の新聞社やテレビ局の記者12人に参加いただき、裁判官との意見交換会を開催しました。

模擬裁判

意見交換に先立ち、実際の裁判で使用する法廷で模擬裁判を行い、記者の皆さんに裁判員役を体験していただきました。

「21歳の男が遊ぶ金欲しさにコンビニに押し入って現金2万円などを奪い、店員にけがをさせた」という設定の強盗致傷事件について、実際の裁判と同じように審理しました。



模擬評議

模擬裁判の結果を踏まえ、記者の皆さんに「被告人は有罪か無罪か、有罪の場合どのような刑罰がふさわしいか」について話し合っ決めて「評議」を体験していただきました。

今回の模擬評議では、被告人にどのような刑罰がふさわしいかが議論の中心となりましたが、記者の皆さんからは「被告人はまだ若いので、親元でやり直すチャンス

を与えた方がいい」という意見がある一方、「若いからこそ、刑務所に入って悪いところをきちんと直した方がいい」という意見もあるなど、様々な意見が出されました。

意見交換

模擬裁判と模擬評議を踏まえ、「裁判員制度を県民の皆さんにもっと知っていただくにはどうすればいいか」「裁判員裁判への参加について、県民の皆さんの不安を減らすにはどうすればいいか」などについて、記者の皆さんから貴重なご意見をいただきました。

参加された記者の皆さんの感想

- ・ 模擬評議の裁判官の司会進行は大変分かりやすかった。
- ・ 今回のような模擬裁判や模擬評議を県民の皆さんにも体験してもらおうと、裁判員制度に対する理解が深まると思う。

当裁判所で開催している**裁判官の「出前講義」**では、**模擬裁判や模擬評議のような体験型の内容を盛り込むこともできます。**学校や職場などへ「出前」のご要望がありましたらお気軽にご相談ください。